

平成 25 年 10 月 4 日
地 域 医 療 課

在宅療養シンポジウムについて

自宅や住み慣れた地域で最期を迎えることを望む声は多いが、病気や怪我などをきっかけに療養生活を余儀なくされて初めて、在宅で受けられるサービスや最期の迎え方を考える方は少なくない。医療や介護が必要になった時、在宅でどのような療養生活が送れるのか、どのようなスタッフが生活を支えるのかなどについて、区民に理解を深めていただく機会を提供するため、下記のとおり在宅療養シンポジウムを開催する。

1 タイトル

「医療や介護が必要になったとき～在宅療養の選択～」

2 日時

平成 25 年 11 月 16 日（土） 午後 2 時 30 分～5 時

3 会場

練馬区役所地下多目的会議室

4 対象・定員

区民・150 名

5 内容構成

第 1 部 講演「在宅療養でできること」

鈴木内科医院副院長 鈴木 央

第 2 部 パネルディスカッション

<コーディネーター>鈴木 央

<パネリスト>

医師：岡田医院 在宅医療部長 岡田徹也

薬剤師：エリ薬局 管理薬剤師 新井みどり

訪問看護師：桜台訪問看護ステーション 管理者 内田幸子

介護支援専門員：NPO むすび 管理者 木田正吾

在宅療養相談窓口相談員：光が丘相談センター光が丘支所主任 安井晴代

介護者家族：ブーケの会 世話人 小泉晴子

6 広報

ねりま区報 10 月 21 日号、チラシ・ポスター、区ホームページ

※ 介護の日記念事業の一事業として掲載する。